

# 蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成25年6月  
和歌山県立和歌山西高等学校  
和歌山県立和歌山北高等学校西校舎  
Tel.453-1281

## ☆「え～！！、すごいやん！」



さくら支援学校が「支援体連フットベースボール大会」で優勝し、「全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会フットベースボール競技の部」に出場することになりました。これを受け、生徒会で激励の寄せ書きを贈りました。生徒達はこの朗報に「すごいやん！」と驚きの表情を見せ、個々にメッセージを記入していきました。近畿大会当日は、敗れはしたものの、みんな全力で取り組んでいたとのこと。生徒会からのメッセージも、心の中にきっと届いていたことでしょう。



## ☆お互いの文化を尊重して

5月22日（水）、3年生選択授業にて、国際交流員のイ・ジョンミンさんをお招きして「韓国講座」を実施しました。日本の素晴らしい点や韓国の受験戦争、料理、ハングル等、とてもわかりやすくお話いただきました。日本語を勉強している人の数が最も多い国が韓国だそうです。講座の最後では民族衣装も試着させていただきました。生徒達は大満足でした。お互いの文化を尊重し共に歩んでいける大人として成長いけるよう、これからも取り組んでいきたいと思います。



## ☆みんなでいい思い出づくり

5月24日（金）に遠足を実施し、1年生は海遊館へ、2年生はみさき公園、3年生はUSJに向かいました。当日は天候に恵まれ、生徒達はグループを作って、それぞれの施設を満喫しました。集合時間やマナー等もしっかりと守り、充実した時間を過ごすことができました。遠足はクラスづくり、集団づくり、学年づくりという観点において極めて重要な行事です。今回の思い出を大切に、今後の学習につなげてくれることを期待します。



開校にあたり、和歌山西高校・和歌山北高校西校舎生を代表して、ひとことご挨拶申し上げます。  
この地は海拔70メートルに位置し、私達はおよそ270段にもなる階段を毎日登って登校しています。その途中、この季節には多くの花が咲き、とりわけ満開の桜並木を通ると、心新たに「また1年がんばるぞ!」という気持ちで一杯になります。機会がありましたら、みなさんも先生方と共に、ぜひご覧ください。

さて私達は、東日本大震災、紀伊半島を襲った台風12号による甚大な被害を受け、昨年度さまざまな形で被災地支援活動に取り組みました。街頭募金活動や現地での復旧作業、被災地小学生との交流等を通して、改めて「絆」や「つながり」「支え合うこと」の大切さを学びました。同時に「人間誰しも本来、誰かの力になれたり、励ましたりできる存在なんだ」とも感じました。

三つの学校が同じ建物の中で生活することに不安や戸惑い、心配もあると思います。でも生徒や先生方、保護者をはじめ、この地に関わるすべてのみなさんがお互いを尊重し、思いをはせればきっと乗り越えられれば、昨年度の経験を通して私達は確信しています。

これまで支援学校のみなさんと交流する機会はほとんどありませんでしたが、この度、生徒会代表が和太鼓を共に演奏させて頂きます。これを交流の第一歩として、被災地支援等の特別活動や学校行事等、知恵を出し合い取り組んでいきたいと思います。

自然豊かなこの蔵王の地で、共に学び育ち合っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



平成24年4月10日

県立和歌山西高等学校・和歌山北高等学校西校舎

生徒会長 山中祐二

